＜様式３－２＞

海 外 渡 航 報 告 書【ＤＣのみ】

独立行政法人日本学術振興会理事長　殿

受入研究者名

下記のとおり、特別研究員－ＤＣの海外渡航について、「研究計画における渡航の意義及び渡航時における指導方法」等を報告します。

記

特別研究員　登録名：

１．渡航の目的

[ ] １）研究遂行

[ ] ２）研究指導委託

[ ] ３）国際共同学位等の教育連携体制に基づくジョイント・ディグリー、ダブル・ディグリー等

２．渡航先

　　渡航先の国名：

渡航先の研究機関等：

　　専攻名【２）での渡航の場合のみ】：

３．研究計画における渡航の意義及び渡航時における指導方法

【研究計画における渡航の意義】

|  |
| --- |
|  |

【渡航時における指導方法】

|  |
| --- |
|  |

|  |
| --- |
| 【受入研究機関の事務局が確認（チェック）してください。】研究科長の承認【渡航目的が２）又は３）の場合のみ】：[ ] 承認済 |

■受入研究機関事務局　お問い合わせ先（受入研究機関の事務局にて記載ください）

機関名・部署名：

メールアドレス：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　電話番号：

（注）

①　本様式は、受入研究者が作成してください。

②　国際共同学位等の教育連携体制に基づくジョイント・ディグリー、ダブル・ディグリー等の場合は、特別研究員としての研究活動の一環として、当初計画の進展・相乗効果が認められるものであることとします。

③　研究計画における渡航の意義については、渡航することにより研究計画がどのように進展する又はしたのか、といった点に留意して記載してください。

④　研究計画における渡航の意義等について、詳細に記載いただける場合は任意様式を添付いただいても構いません。

⑤　渡航時における指導方法については、国内の受入研究者が、特別研究員に対し渡航中どのように指導を行ったのかを具体的に記載してください。

⑥　特別研究員-PD、RPDは、本報告書の提出は必要ありません。